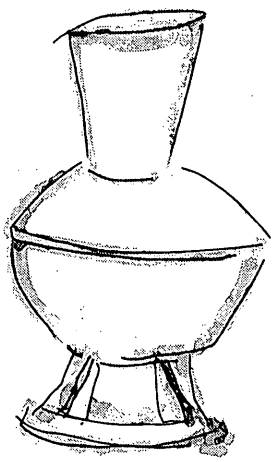
阪南町埋蔵文化財報告X

阪南町埋蔵文化財発掘調査概要V



1990年3月

阪南町教育委員会

はしがき

現在、埋蔵文化財発掘調査に関する記事は、毎日のように新聞紙上に掲載されており、現地説明会に詰めかける熱心な考古学ファンの数も増加しているようです。この埋蔵文化財というのは、わたしたちの先人の生活を知るうえで、かけがえのないものです。

ここ阪南町でも、現在60カ所の埋蔵文化財の包蔵地が知られています。昨年11月に催された“第１回阪南町の文化財展”の会場に、主要な包蔵地を航空写真により展示したところ、土器や石器などの展示遺物と共に、会場を訪れた多くの方々の興味を集めました。このように埋蔵文化財というものをより身近に感じていただくことは、開発行為の盛んな今こそ、重要なことではないかと思われます。

阪南町教育委員会では、開発行為に伴う工事の事前に発掘調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存措置を行っています。今年度は国庫補助事業として、神光寺（蓮池）遺跡、馬川遺跡等での調査を実施しました。馬川遺跡での調査では、町内での出土例がない、複弁八葉蓮華文軒丸瓦が出土するなどの成果を上げました。

ここに、これらの調査の概要を報告いたします。この報告書が、より多くの方々に文化財を理解していただくお役に立てば幸いです。最後になりましたが、調査にご協力をくださった土地所有者ならびに関係者の方々に深く感謝いたしますと共に、今後のご理解、ご協力をお願いいたします。

平成２年３月

阪南町教育委員会

教育長　庄司　菊太郎

例　　言

1．　本書は、阪南町教育委員会が平成元年度国庫補助事業として計画し、社会教育課が担当実施した阪南町内所在埋蔵文化財包蔵地の発掘調査概要報告書である。

2．　調査は、阪南町教育委員会社会教育課三好義三を担当者とし、平成元年４月１日に着手し、平成２年３月31日に終了した。

3．　調査にあたっては、調査地の土地所有者等関係各位の協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。

4．　本書の編集および執筆は、調査参加者及び三好が行った。

5．　本調査における記録は、実測図、写真、カラースライド等に保存されている。阪南町教育委員会で保管しているので、広く活用されることを希望する。

目　　次

1章　調査に至る経過　1

2章　歴史的環境　2

3章　調査成果

1節　神光寺（蓮池）遺跡　4

2節　馬川遺跡　8

3節　室堂遺跡　10

遺物観察表　11

挿　図　目　次

第１図　阪南町埋蔵文化財包蔵地分布地図　3
第２図　神光寺（蓮池）遺跡　調査区位置図　4
第３図　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　トレンチ位置図　5
第４図　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　トレンチ平面図・断面図　5
第５図　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　出土遺物　6
第６図　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　出土遺物　7
第７図　馬川遺跡　89－１区　トレンチ位置図　8
第８図　馬川遺跡　調査区位置図　8
第９図　馬川遺跡　89－１区　トレンチ断面図　9
第10図　馬川遺跡　89－１区　出土遺物　9
第11図　室堂遺跡　89－１区　トレンチ位置図　10
第12図　室堂遺跡　調査区位置図　10

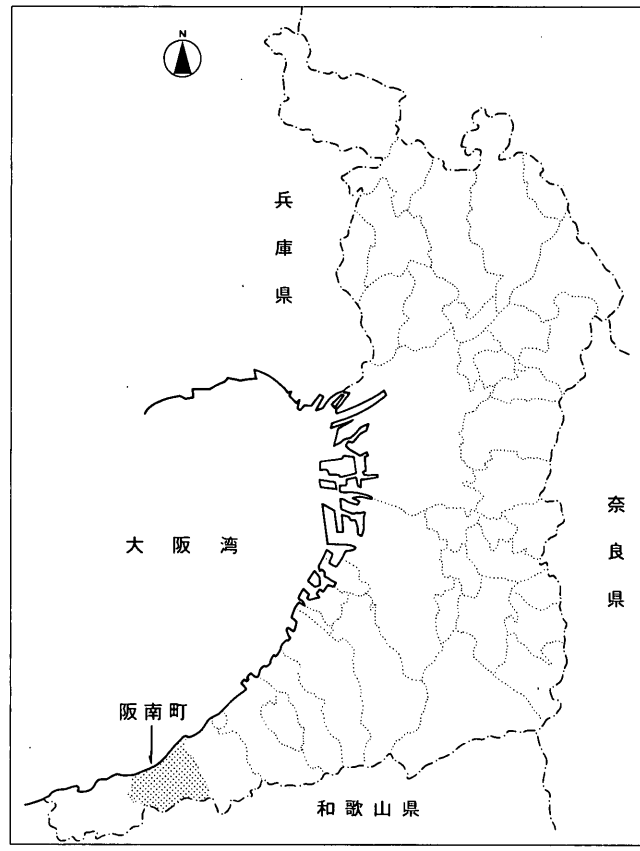
図　版　目　次

図版１　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　附近全景・調査区隣接板碑
図版２　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　調査区全景・断面
図版３　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　出土遺物
図版４　神光寺（蓮池）遺跡89-1区 出土遺物 馬川遺跡89-1区 1トレンチ全景
図版５　馬川遺跡　89－１区　遺物出土状況・出土遺物

第１章　調査に至る経過

大阪府の南部に位置する阪南町は、その位置的性格から早くより大阪のベッドタウンとして開発されてきた地域であり、現在も住宅開発は進行中である。また泉州沖では、関西新空港建設が平成５年度の開港に向け、着々と進められており、他の泉州地域同様、阪南町域でも近年開発が活発化されてきた。このような開発行為の増加は、埋蔵文化財包蔵地内での土木工事に伴う届出（通知）件数の推移に顕著であり、昭和60年度に７件であった届出件数が、61年度には24件、62年度と63年度には、それぞれ約50件にのぼり、平成元年度も約40件の届出があった。

阪南町教育委員会では、これらの届出に対し、埋蔵文化財の保存や保護活用を図るため、昭和60年度より国庫補助事業として埋蔵文化財の発掘調査を実施している。今年度の調査は、神光寺（蓮池）遺跡、馬川遺跡等でおこなった。



阪南町位置図

第2章　歴史的環境

阪南町に人類の生活が始まったのは、旧石器時代である。この旧石器時代の遺跡としては、神光寺（蓮池）遺跡、自然田遺跡がある。どちらの遺跡からも明確な遺構等は検出されていないが、神光寺（蓮池）遺跡で後期旧石器時代に属する有舌尖頭器が、自然田遺跡でナイフ形石器が採集されている。

縄文時代では、前述の2遺跡の他に玉田山遺跡、寺田山遺跡、石田山遺跡、貝掛遺跡、田山遺跡で晩期を中心とした石鏃、石錘等の出土が知られている。とりわけ田山遺跡での調査では、29点の石器と数十点の剝片が検出されている[注(1)]が、いずれも後代の遺構や包含層に混入したもの、あるいは表採したものであり、遺構ならびに縄文土器が検出されるには至っていない。しかし隣接する岬町淡輪遺跡からは、縄文時代後期の竪穴住居址、縄文土器が検出されており[注(2)]、阪南町での今後の調査が期待される。

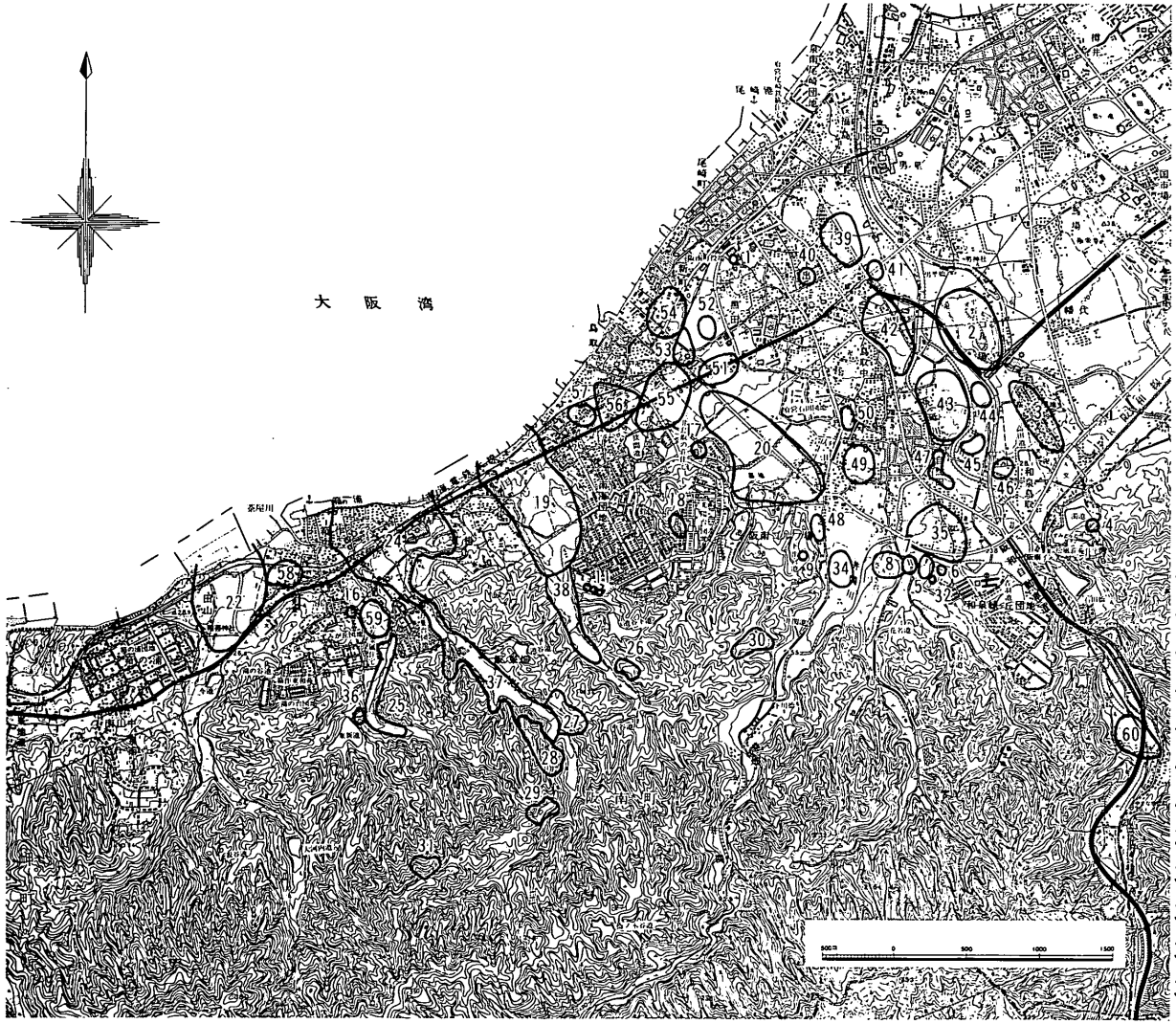
弥生時代では、神光寺（蓮池）遺跡で方形周溝墓が検出されているほか、石庖丁も出土している。また弥生時代中期に属すると思われる壺、鉢、高坏の一部、流路跡も検出されている。

古墳時代としては、中期古墳である小型の帆立貝式前方後円墳の箱作古墳があげられるが、隣接する岬町に造営された宇度墓古墳や西陵古墳といった大型のものは存在しない。後期以降では、玉田山古墳群、塚谷古墳群、高田山古墳群が知られている。なかでも玉田山古墳1号墳からは、須恵器長頸壺、金環、銀環、ガラス製丸玉、琥珀製棗玉、小坩などの多数の遺物が出土している。

奈良時代以降の中近世では、各遺跡から土師器、瓦器等を中心とした遺物が出土しており、箱作今池遺跡では、中世期の蛸壺焼成遺構が検出されている[注(3)]。また今年度調査を実施した馬川遺跡では、複弁八葉蓮華文軒丸瓦が出土しており、古代瓦としては平野寺（長楽寺）跡につぐ出土であった。

以上が阪南町内における遺跡の概略である。先述したように今後の調査での縄文時代の遺構、縄文土器の検出が待たれる。

注(1)「田山遺跡」㈶大阪文化財センター　1983年3月
注(2)「淡輪遺跡発掘調査概要Ⅲ」大阪府教育委員会　1981年3月
注(3)「阪南町埋蔵文化財発掘調査概要Ⅳ」阪南町教育委員会　1989年3月



1 皿田池古墳
2 平野寺(長楽寺)跡
3 高田山古墳群
4 雨山遺跡
5 玉田山古墳群
6 玉田山遺跡
7 寺田山遺跡
8 岩崎山遺跡
9 石田山遺跡
11 塚谷古墳群
16 箱作古墳
17 三昧谷遺跡
18 三升五合山遺跡
19 貝掛遺跡
20 神光寺(蓮池)遺跡
22 田山遺跡
24 箱作今池遺跡
25 茶屋遺跡
26 四郎太郎遺跡
27 稲丸遺跡
28 井山城跡
29 箱作ミノバ石切場跡
30 師道谷遺跡
31 箱作細谷石切場跡
32 玉田山須恵器窯跡
34 井関遺跡
35 自然田遺跡
36 箱作仏屋谷石切場跡
37 飯ノ峯畑遺跡
38 金剛寺遺跡
39 馬川遺跡
40 内畑遺跡
41 下出北遺跡
42 室堂遺跡
43 向出遺跡
44 久保田遺跡
45 高田西遺跡
46 高田南遺跡
47 向山遺跡
48 小口谷遺跡
49 西畑遺跡
50 正方寺遺跡
51 黒田南遺跡
52 黒田西遺跡
53 鳥取遺跡
54 鳥取北遺跡
55 鳥取南遺跡
56 西鳥取遺跡
57 戎遺跡
58 田山東遺跡
59 箱作南遺跡
60 山中渓遺跡

第1図　阪南町内埋蔵文化財包蔵地分布地図

第３章　調査成果

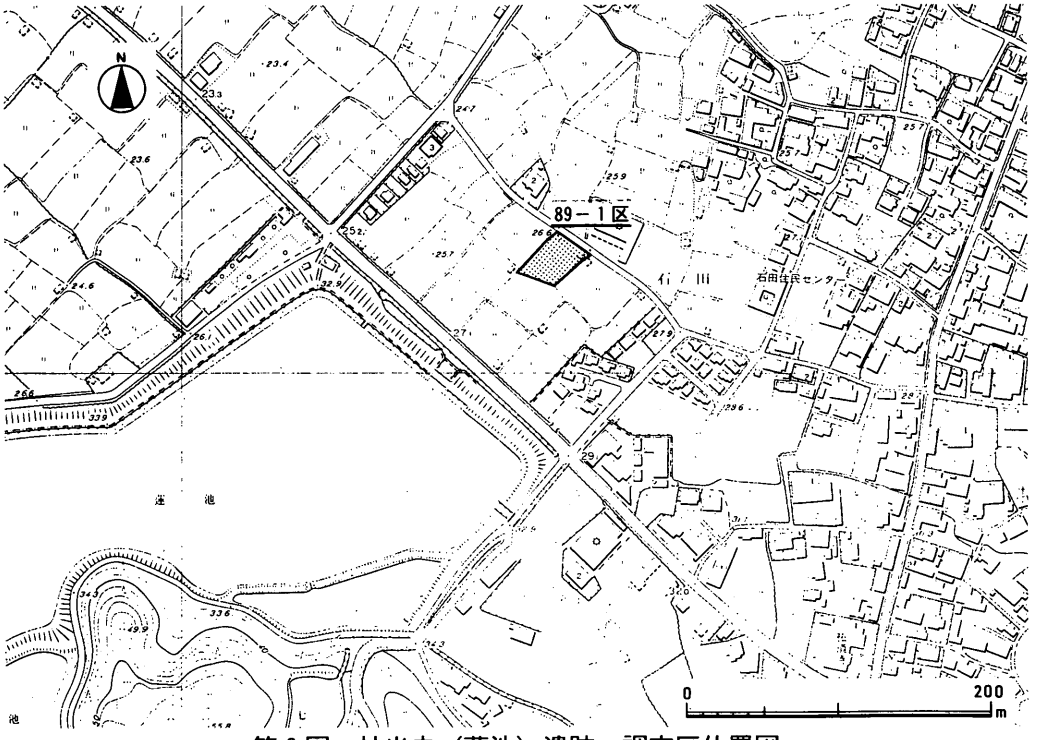
１節　神光寺（蓮池）遺跡

89－１区

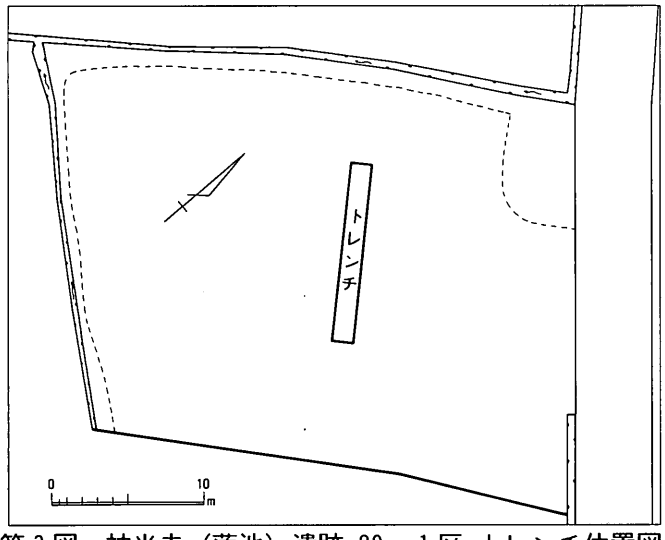
1.　位置　（第２図，図版１）

神光寺（蓮池）遺跡は、阪南町のほぼ中央に位置し、旧石器時代から近世期にかけての遺物、遺構がかなり検出されており、田山遺跡と共にその性格を把握することのできる遺跡である。第２章において述べたように、弥生時代の方形周溝墓、石庖丁が検出されている。また、中世期以降には、近くに存在する式内社として知られる波太神社の神宮寺としての神光寺が、明治初期まで存在しており、その関係遺物や遺構が数多く検出されている。

今回の調査は、この神光寺（蓮池）遺跡の西北部に位置している。昭和59年および60年度には隣接地が調査されており、礎石建物等が知られている。また調査区の隣地には、前述した神光寺に関係すると思われる板碑が保存されている。



第２図　神光寺（蓮池）遺跡　調査区位置図



第3図　神光寺（蓮池）遺跡 89－1区 トレンチ位置図

2.　調査の概要　（第3・4図，図版2）

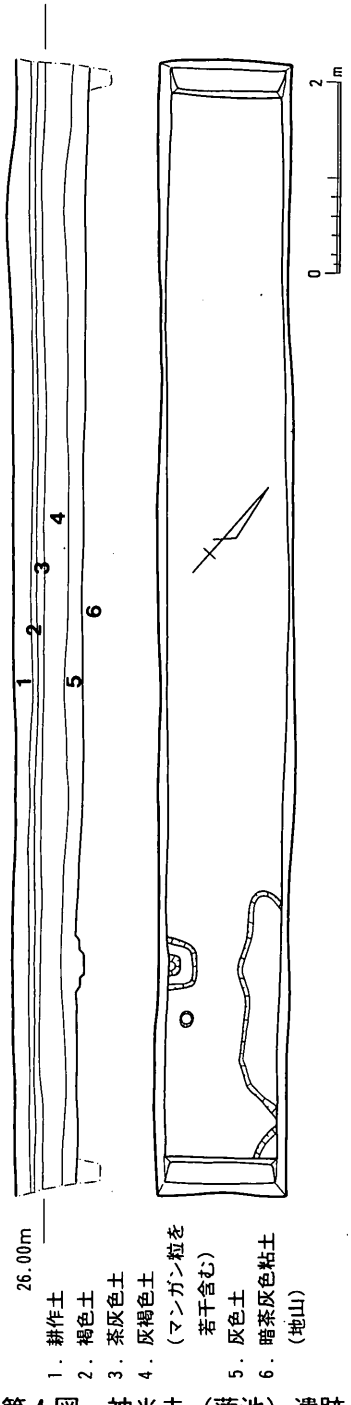
調査は、計画地のほぼ中央に1.5m×12mのトレンチを設定し、実施した。掘削はすべて人力で行った。

基本的な層序は、第4図に示すところであり、この神光寺（蓮池）遺跡の他地区とほぼ同じような様相を呈している。2層～5層の各層から瓦器、土師器、須恵器の破片、これらに混じって瓦片が比較的多く出土した。

遺構としては、トレンチ南西側でピット、西側で落ち込みを検出した。前者については、埋土が5層であり、埋土内から遺物は検出されなかった。後者についても、埋土は同じく5層であり、遺物も土師器の小片が検出されたのみであった。

このように、今回の調査では、神光寺関係の遺構が検出されなかったが、瓦等寺院に関する遺物が多く出土していることから、附近に寺院に関する建物が存在していた可能性が考えられる。

遺物については以下を参照されたい。

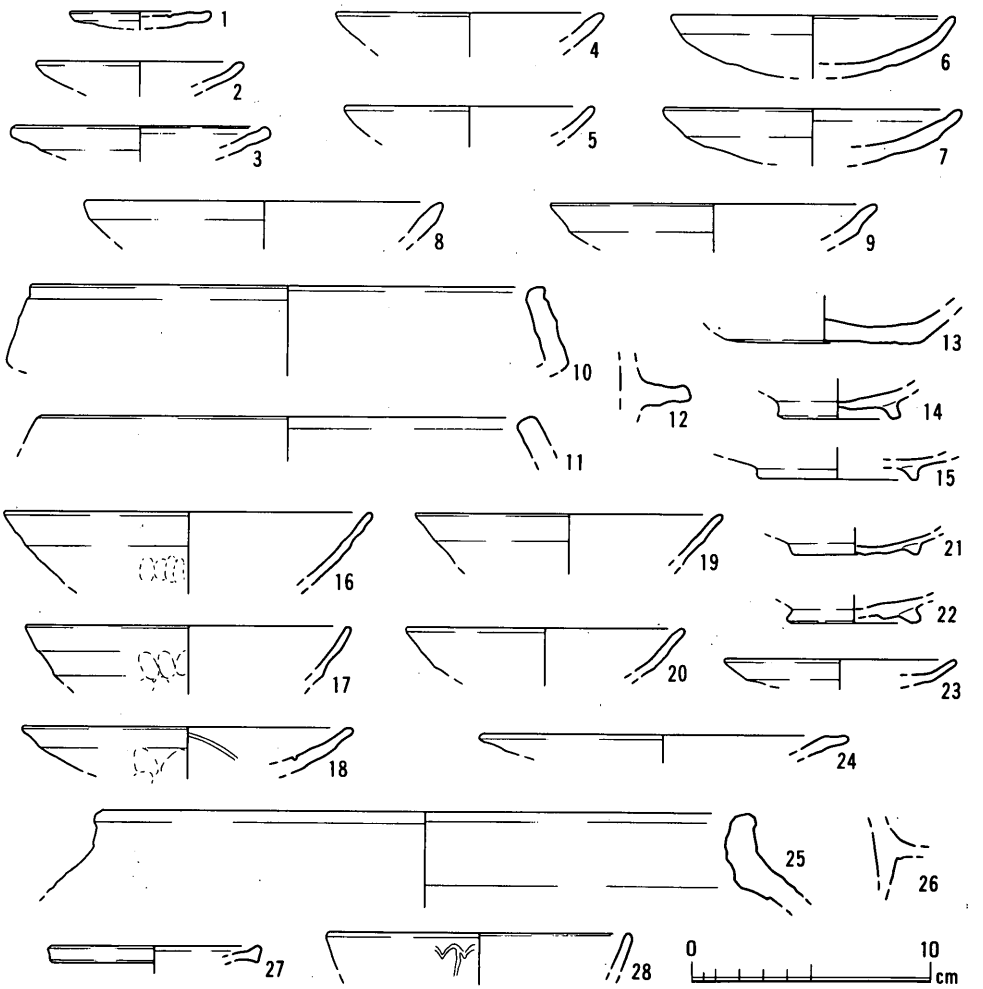


第4図　神光寺（蓮池）遺跡 89－1区　トレンチ平面図・断面図

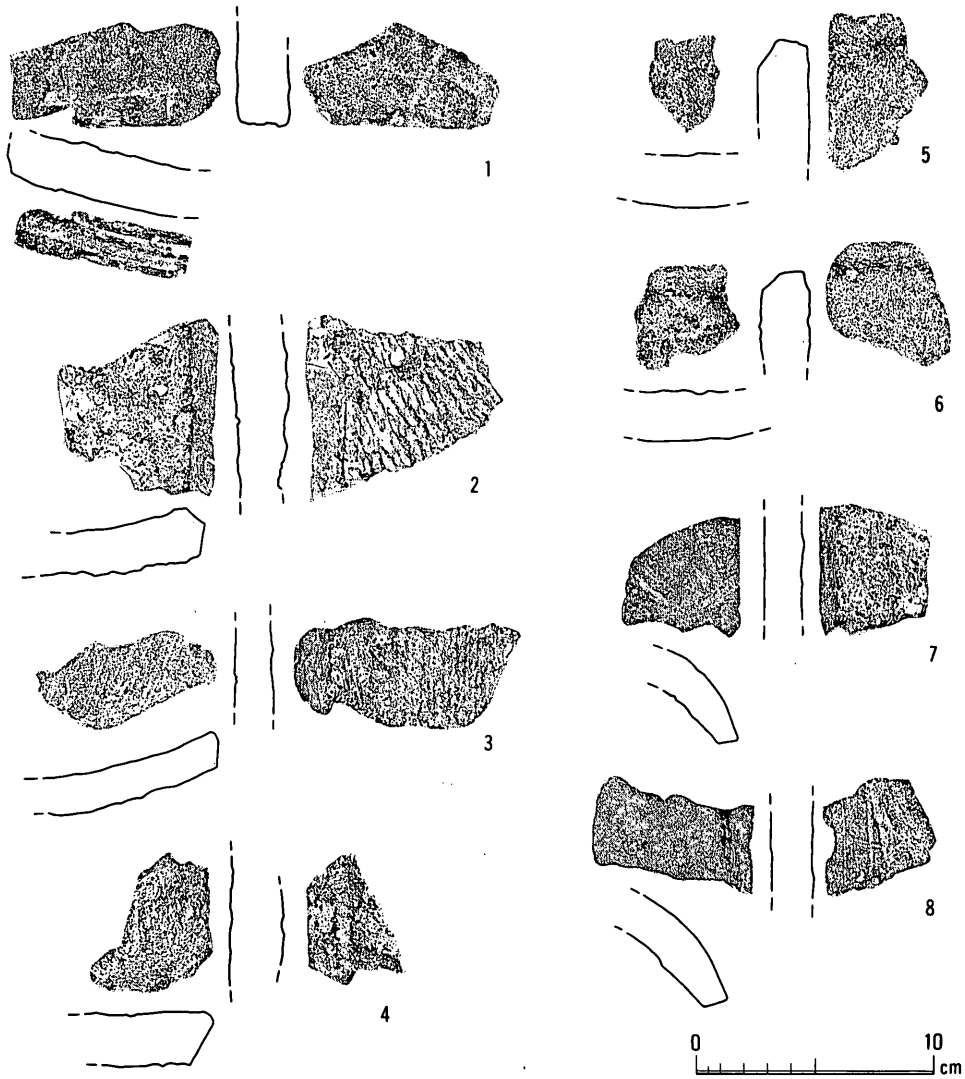
3. 遺物

―土器―（第５図、図版３）

１～９は、土師質の皿であり、10は土師質の焙烙、11は土師質の無頸壺と思われる。12は土師質羽釜の鍔部で、鍔下は二次焼成をうけている。13は土師質壺の底部である。14～22は瓦器椀であり、14，15，21，22の高台は貼り付けによるものである。また18の内面には、成形時に混入した藁等の植物性のものが焼成により抜け落ちたと思われる痕跡がみられる。23は瓦器皿、24は瓦質の皿である。25は瓦質の甕であるが胎土は粗く、成形もあまりよくない。26は瓦質羽釜の鍔部である。27は須恵器長頸壺と思われる口縁部で、自然釉がみられる。28は中国製と思われる青磁の碗で、残存部全体に貫入がみられるほか、外面に



第５図　神光寺（蓮池）遺跡　89－１区　出土遺物



第6図　神光寺（蓮池）遺跡　89－1区　出土遺物

ヘラ状工具による線描蓮弁文が施されており、蓮弁[注(1)]の型式から15世紀後半をさかのぼらないと思われる。出土遺物の大半は、磨耗のため明瞭な調整痕をとどめていない。詳細については遺物観察表を参照されたい。

―瓦―（第6図，図版4）

1は重弧文軒平瓦と思われるが、かなり磨耗をうけているため詳細は不明である。2～6は平瓦、7と8は丸瓦である。

注(1)「日本出土の明代青磁碗の変遷」―鏡山先生古稀記念古文化論攷― 亀井明徳 1980年

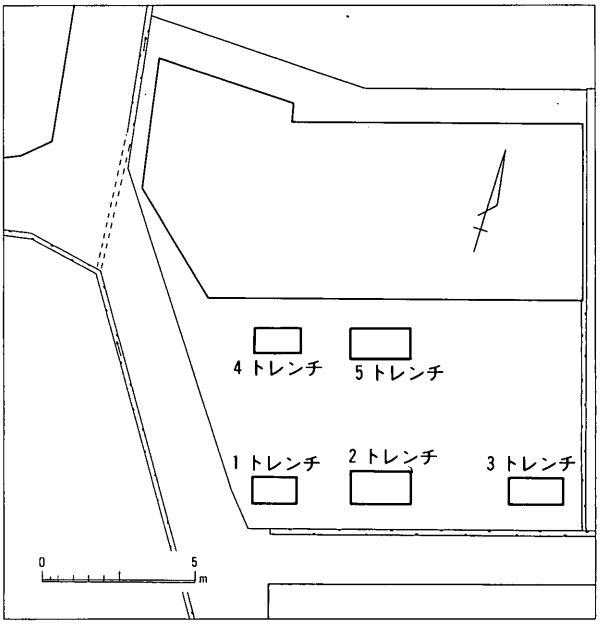
2節　馬川遺跡

89－1区

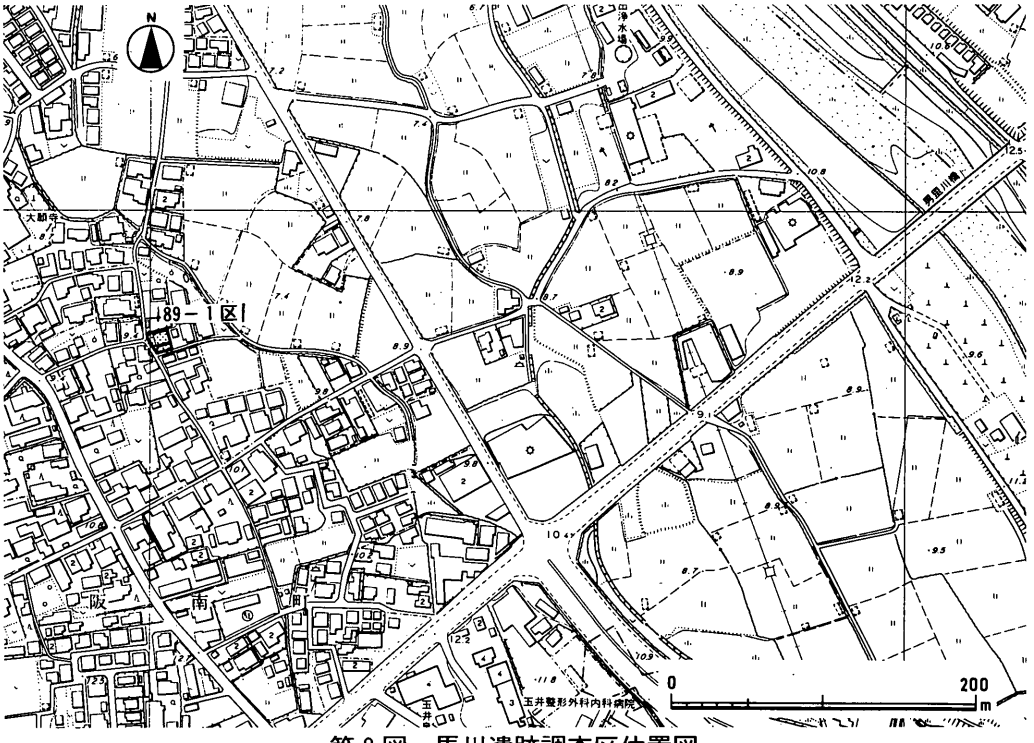
1.　位置　（第8図）

馬川遺跡は、阪南町の北東部に位置している。昭和63年に分布調査、発掘調査によって周知された。

これまでの調査では、時期の明確な遺構は未検出であるが、各調査地で溝状遺構やピットなどが確認されている。遺物としては、土師質土器、須恵器等をはじめ、サヌカイトの剥片が出土している。このサヌカイト片は、町内の他の遺跡と比べ、かなりの量が検出、



第7図　馬川遺跡　89－1区　トレンチ位置図



第8図　馬川遺跡調査区位置図

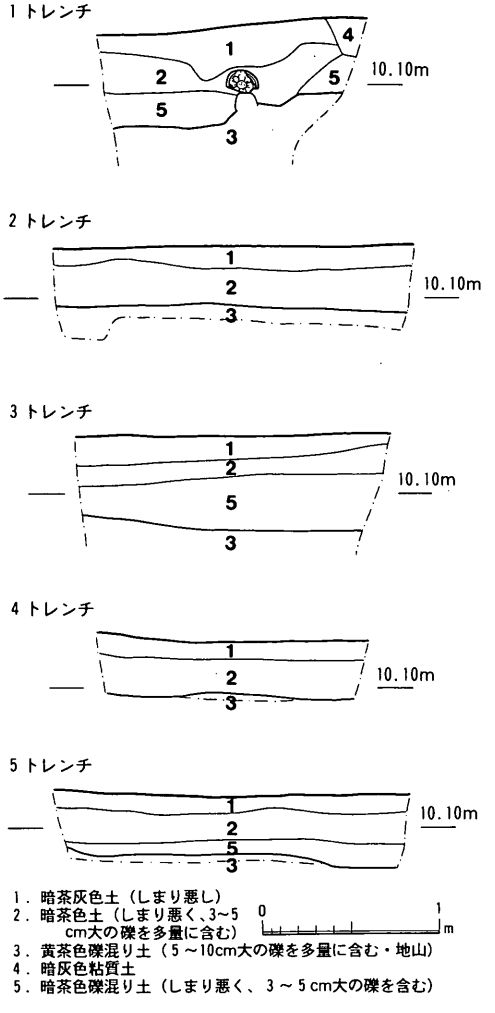
採集されている。旧石器時代から弥生時代にかけての遺構、サヌカイト以外の遺物―土器は検出されていないが、附近にこれらの時代の遺構の存在する可能性は、非常に高いものと思われる。

今回の調査は、馬川遺跡の西端部に位置している。

2. 調査の概略 （第7・9図，図版4）

調査は、建物の基礎部分に5カ所のトレンチを設定し、実施した。

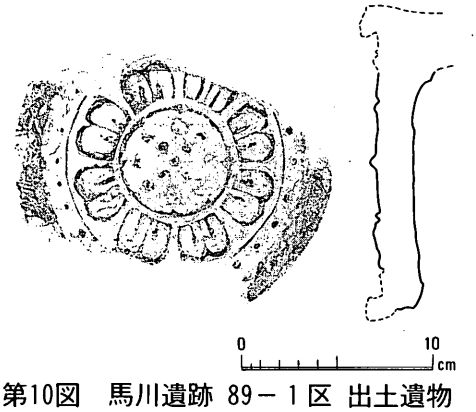
基本的な層序は、第9図を参照されたい。遺構は検出されなかったが、遺物では第1トレンチから、下記に示すように複弁八葉蓮華文軒丸瓦が出土した。後世の流れ込みであるが、これまで町内においてだけでなく、近隣の地域においても同范の軒丸瓦の検出例はなく、非常に興味深い。



第9図 馬川遺跡 89－1区トレンチ断面図

3. 遺物 （第10図，図版5）

複弁蓮華文の軒丸瓦である。外区周縁は素文の直立縁、外区内縁には珠文がめぐり、内区は子葉をもつ8葉の複弁蓮弁である。中房は圏線で区画されており、蓮子は中心の周りに二重に配されたものである。この他、土師質土器の破片等が出土しているが、細片であるため図化していない。



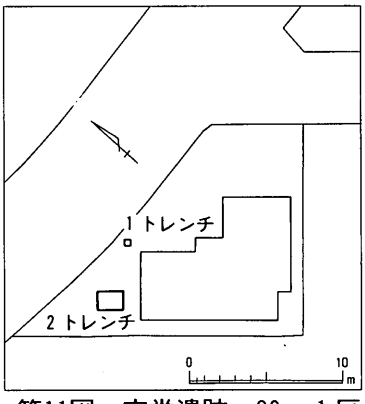
第10図 馬川遺跡 89－1区 出土遺物

3節　室堂遺跡

1.　位置　（第12図）

室堂遺跡は、阪南町の北東部に位置し、昭和63年度に実施された分布調査により周知された。その分布調査では、サヌカイトの剝片、土師器片等をはじめ、多くの遺物が採集されている。これまでに行われた発掘調査では、明確な遺構等は検出されていない。

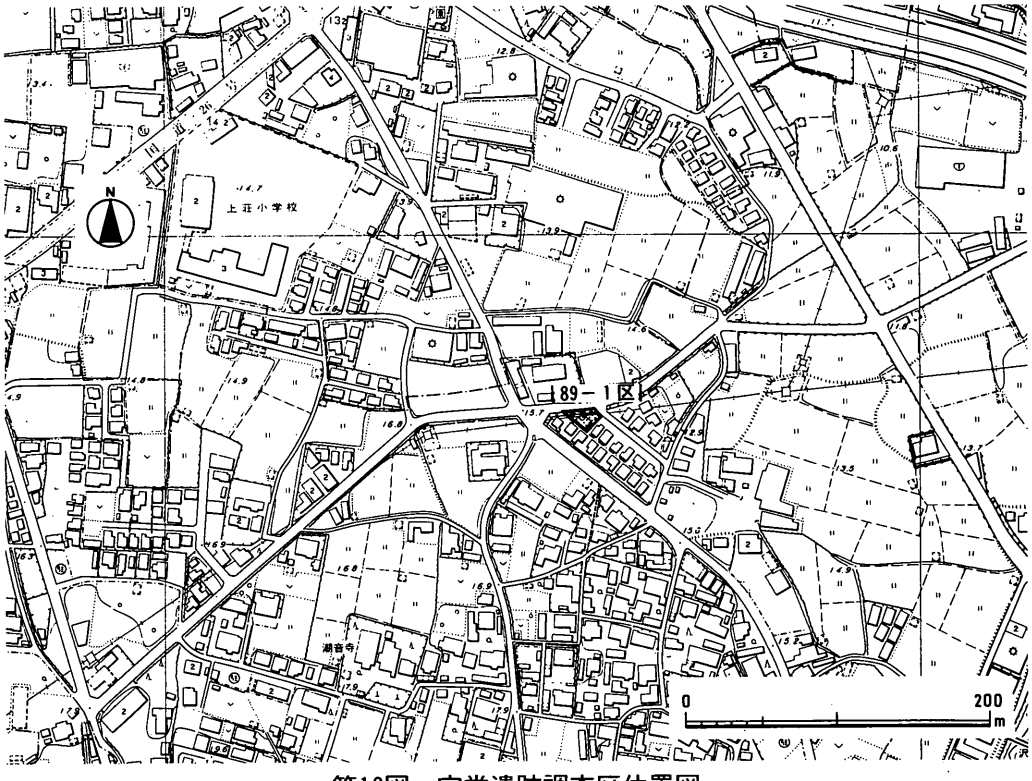
今回の調査区は、この室堂遺跡の西端部に位置している。



第11図　室堂遺跡　89－1区
トレンチ位置図

2.　調査の概略　（第11図）

調査区に2カ所のトレンチを設け実施したが、これまでの土木工事等により、かなりの掘削をうけていた。このため、明確な遺構、遺物は検出されなかった。



第12図　室堂遺跡調査区位置図

遺物観察表

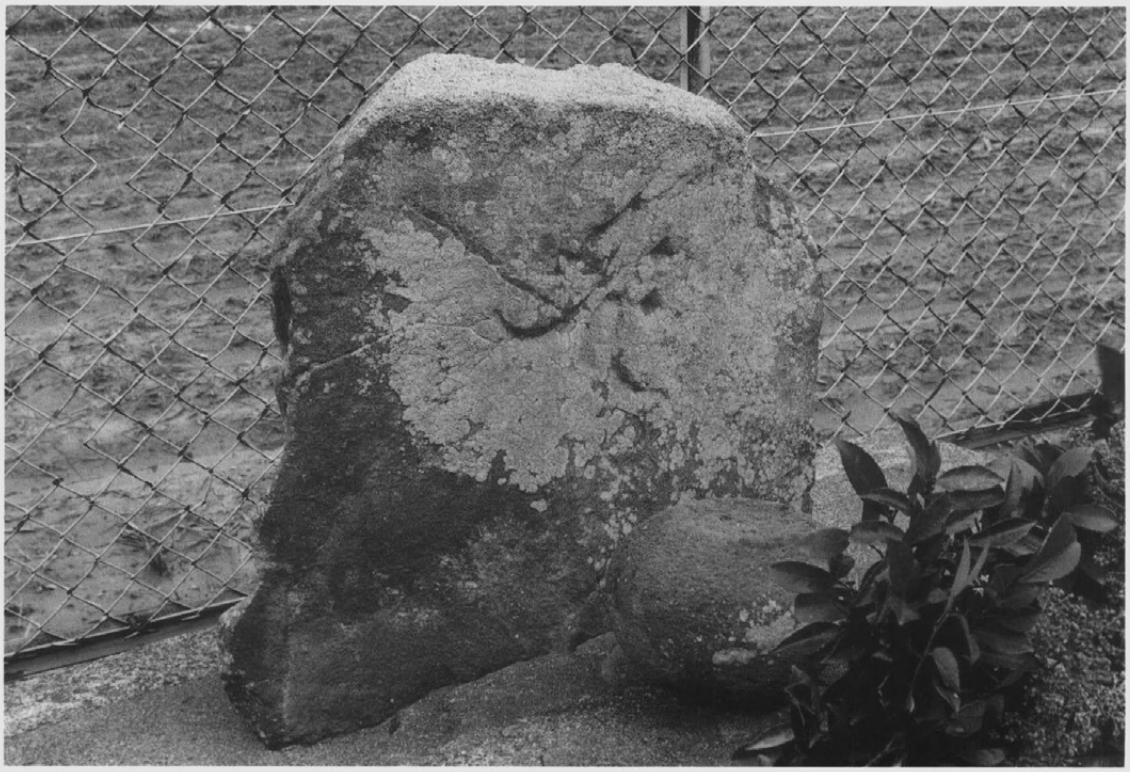
挿図番号	遺跡名地区名	出土地点	器種	法量(cm) 口径	器高	底径	焼成	胎土	色調(内面)	文様または技法の特徴	備考
5－1	神光寺(蓮池)89－1区	灰褐色土 灰色土	皿	5.8	－	－	良好	密(細砂粒を含む)	明茶白色		土師質
5－2	〃	灰褐色土	〃	8.6	－	－	〃	〃	橙白色		〃
5－3	〃	〃	〃	10.6	－	－	〃	〃	明茶色		〃
5－4	〃	〃	〃	11.2	－	－	〃	〃	橙白色(淡橙白色)		〃
5－5	〃	〃	〃	10.4	－	－	〃	〃	淡茶白色		〃
5－6	〃	灰褐色土 灰色土	〃	11.8	－	－	〃	密(1～2mm大の小石微砂粒を含む)	明茶白色	(内面)ハケ目	〃
5－7	〃	〃	〃	12.4	－	－	〃	密(細砂粒を含む)	茶褐色(明茶白色)		〃
5－8	〃	灰褐色土	〃	15.0	－	－	〃	密(細砂粒・小石を含む)	淡茶白色		〃
5－9	〃	〃	〃	18.7	－	－	〃	〃	〃		〃
5－10	〃	－	焙烙	21.6	－	－	〃	密(細砂粒・0.5～2mm大の小石を含む)	黄茶色(明茶色)		〃
5－11	〃	灰褐色土	壺	20.8	－	－	〃	密(細砂粒を含む)	淡茶白色		〃
5－12	〃	灰褐色土 灰色土	羽釜	－	－	－	〃	密(細砂粒・1～2mm大の小石を含む)	明茶白色(鍔下)暗茶色		〃
5－13	〃	灰褐色土	壺	－	－	8.3	〃	密(細砂粒を含む)	暗茶灰色	(外面)ハケ目・ヘラ調整(内面)ヨコナデ	〃
5－14	〃	灰褐色土 灰色土	椀	－	－	5.2	〃	〃	茶白色(茶黒灰色)	(高台)貼り付け	瓦器
5－15	〃	灰褐色土	〃	－	－	6.6	〃	密(細砂粒・1mm大の小石を含む)	淡黄茶灰色(黄黒灰色)	〃	〃
5－16	〃	－	〃	15.4	－	－	〃	〃	黒灰色(黄茶色)	(外面)ヨコナデ 指圧痕	〃
5－17	〃	灰褐色土 灰色土	〃	13.8	－	－	〃	〃	淡黒灰色(黄茶灰色)	(外面)指圧痕	〃
5－18	〃	灰褐色土	〃	13.8	－	－	〃	密	黒灰色(灰黒色)	(外面)ヨコナデ・指圧痕(内面)ヨコナデ	〃 藁の焼け抜け
5－19	〃	灰褐色土 灰色土	〃	12.8	－	－	〃	〃	黒色		瓦器
5－20	〃	灰褐色土	〃	11.6	－	－	〃	密(細砂粒を含む)	黒灰色(黒色)		〃
5－21	〃	〃	〃	－	－	5.2	〃	〃	暗茶灰色(淡茶灰色)	(外面)ヨコナデ・指圧痕(高台)貼り付け	〃
5－22	〃	－	〃	－	－	5.4	〃	〃	黒色	(高台)貼り付け(内面)ヘラミガキ	〃
5－23	〃	灰褐色土	皿	9.6	－	－	〃	密	暗茶灰色		〃
5－24	〃	〃	〃	15.2	－	－	〃	密(細砂粒を含む)	茶灰色(淡茶灰色)		瓦質
5－25	〃	－	壺	27.2	－	－	〃	やや粗(1～5mm大の小石を含む)	灰白色(茶灰白色)	(外面)平行タタキ	〃
5－26	〃	灰褐色土	羽釜	－	－	－	〃	密(細砂粒を含む)	黒色	(鍔下)ヘラ調整	〃
5－27	〃	〃	壺	8.6	－	－	〃	密	黒灰色	自然釉	須恵器
5－28	〃	〃	碗	12.6	－	－	〃	〃	釉・緑灰色	線描き蓮弁文	青磁

挿図番号	遺跡名 地区名	出土地点	分類	法量（cm）			焼成	胎土	色調（凸面）	備考
				長さ	幅	厚さ				
6－1	神光寺(蓮池) 89－1区	灰褐色土	軒平瓦	(4.5)	(7.8)	2.2	良好	密(細砂粒を含む)	黒色 (灰白色)	(凹面)布目 (瓦当面)重弧文・直線顎
6－2	〃	—	平瓦	(7.1)	(7.0)	2.4	〃	〃	灰青色	(凸面)縄タタキ (端面)ヘラ調整・須恵質
6－3	〃	灰褐色土	〃	(4.1)	(7.5)	1.7	〃	密(1～5mm大の小石を含む)	黒灰色 (黒黄色)	(凹面)布目・ヘラ調整 (凸面)縄タタキ
6－4	〃	〃	〃	(5.5)	(5.5)	2.3	〃	密(細砂粒・1～2mm大の小石を含む)	淡茶白色	
6－5	〃	—	〃	(5.2)	(4.2)	2.4	〃	やや粗(細砂粒・1～2mm大の小石を含む)	黒灰色 (暗茶灰色)	
6－6	〃	灰褐色土	〃	(4.3)	(4.9)	2.1	〃	〃	暗灰茶色	
6－7	〃	〃	丸瓦	(4.6)	(3.2)	1.7	〃	密(細砂粒を含む)	暗茶色 (黄茶白色)	(凹面)ヘラ調整 (凸面) 〃
6－8	〃	〃	〃	(4.2)	(4.2)	1.8	〃	〃	淡茶灰色 (黒色)	(凹面)ヘラ調整 (凸面) 〃
10－1	馬川遺跡 89－1区	1トレンチ 暗茶色土	軒丸瓦	(12.7)	(周縁幅) 16.5	(周縁厚) 3.1 2.0	良好	密(0.5～1mm大の砂粒を含む)	茶灰色	直立縁・素文 珠文・残存12 複弁蓮弁・8葉 蓮子・13

図　　版

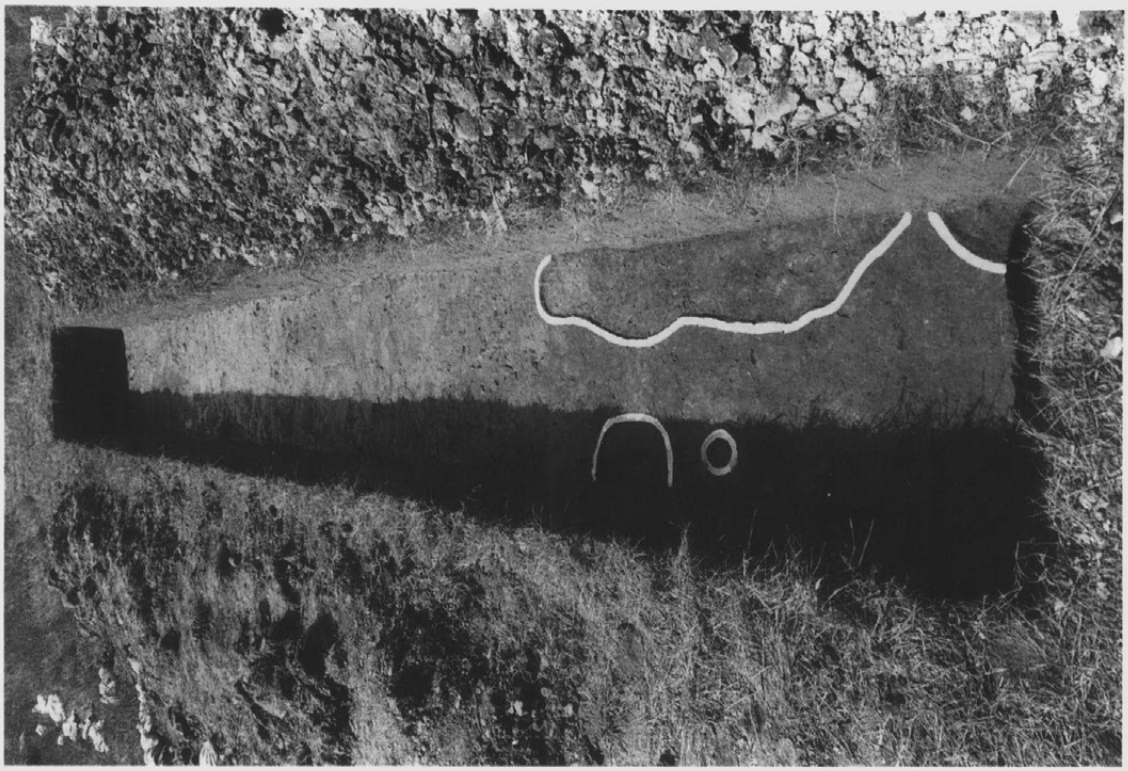
図版1　神光寺（蓮池）遺跡　89－1区

神光寺（蓮池）遺跡附近全景

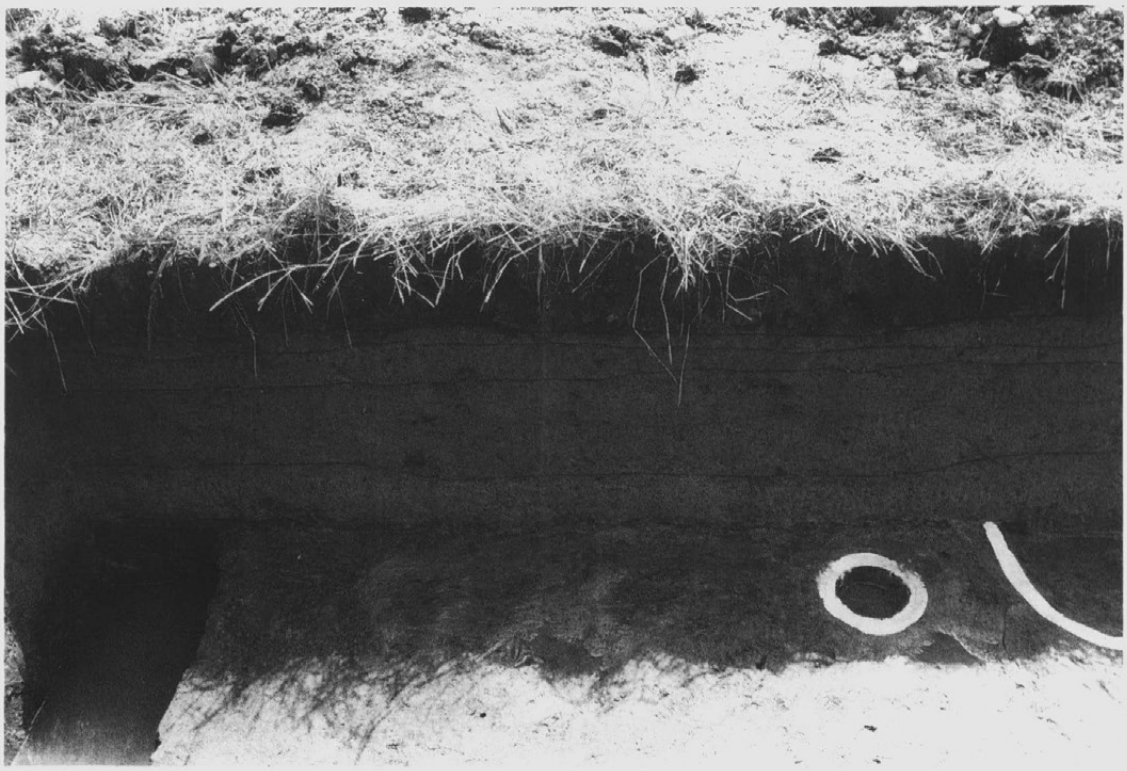


調査区隣接板碑

図版2　神光寺（蓮池）遺跡　89－1区　調査区全景・断面

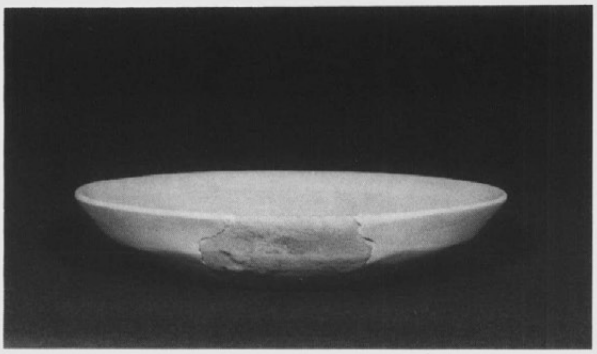


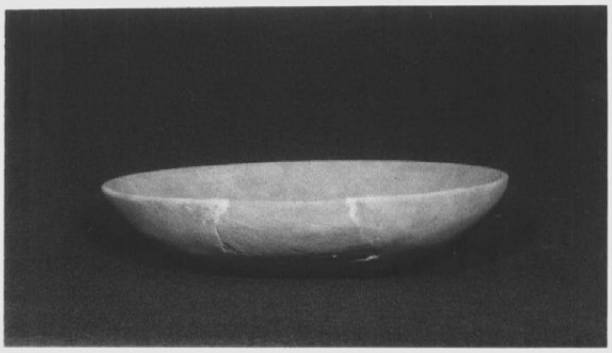
調査区全景（南東より）



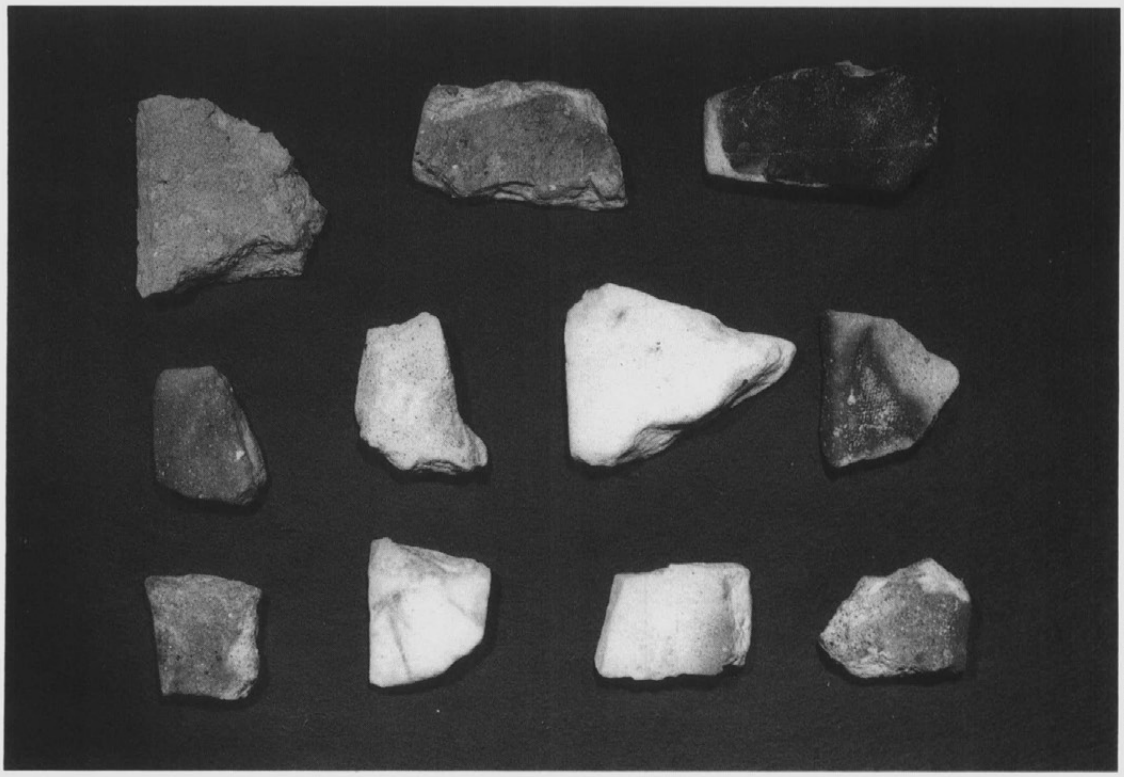
断面（北東より）

図版3　神光寺（蓮池）遺跡　89－1区　出土遺物





図版4　神光寺（蓮池）遺跡89－1区　出土遺物・馬川遺跡89－1区　1トレンチ全景



神光寺（蓮池）遺跡89－1区　出土遺物

馬川遺跡89－1区1トレンチ全景（東より）

図版5　馬川遺跡　89－1区　遺物出土状況・出土遺物

遺物出土状況

出土遺物

阪南町埋蔵文化財報告 X

阪南町埋蔵文化財発掘調査概要 V

平成 2 年 3 月

発　行：阪南町教育委員会社会教育課
大阪府泉南郡阪南町尾崎町35の 1

印刷者：西岡総合印刷株式会社
和歌山市吹屋町 5 丁目54